

新型コロナウイルス後の世界を見据えた「貧困対策と社会保障」に関する質問票

沖縄県議選選挙立候補ご予定の皆様へ、今後の沖縄の子どもの貧困対策と社会保障に関するお考えをお聞かせ下さい。今回の質問に関する経緯については別紙資料をご確認ください。

メールアドレス *

★本回答を行う方のお名前を教えてください *

玉城 みつる

質問1：沖縄の社会保障制度の現状と展望についてお聞きします。

今般、新型コロナ禍において「住居確保給付金」や「生活福祉資金貸付制度」の要件緩和による活用が注目されています。これらの制度や生活保護制度、生活困窮者自立支援制度等の公的な社会保障制度について、現状の課題や問題点、ご自身が議員になられた際に公的な社会保障制度について行う予定の具体的施策があればご回答願います。

(回答1) 現状の社会保障制度の課題や問題点、具体的施策

受付が煩雑。ハードルが高い。申請の簡素化が必須。早期の給付金支給徹底。あらゆる境遇に対応すべき。

質問2：沖縄の子どもの貧困対策事業についてお聞きします。

玉城県政において、子どもの貧困対策が最重要課題の一つとされてきました。現在の沖縄県における子どもの貧困対策の施策について、現状の課題や問題点、ご自身が議員になられた際に子どもの貧困対策として行う予定の具体的施策があればご回答願います。

(回答2) 沖縄の子どもの貧困対策事業の課題や問題点、具体的施策

大人の貧困に起因。時給の値上げはもちろん正規雇用を促進する。民間の売り上げの1パーセントを基金にし貧困対策の資金にあてる。

質問3：沖縄の雇用改善についてお聞きします。

沖縄県は、子どもの貧困対策のために、「雇用の質の改善」を打ち出しています。貧困を根本的に解決するためには、所得向上が不可欠と考えられているためです。沖縄県は、非正規雇用率の高さ（沖縄県 43.1%、全国 38.2%、2017 年総務省就業構造基本調査）に加え、正社員有効求人倍率が全国の半分程度（沖縄県 0.55 倍、全国 1.08 倍、令和2年2月沖縄労働局）であることが知られています。他方で、正規雇用であっても他府県と比べると依然として低く留まっていることも課題です。そこで、沖縄の雇用改善について現状の課題や問題点、ご自身が議員になられた際に雇用の質の改善のために行う具体的施策があればご回答願います。

(回答3) 沖縄の雇用改善の課題や問題点、具体的施策

県事業の地元業者優先を徹底する。あらゆるジャンルで一国二制度を模索し、所得向上につなげる。

質問4：沖縄の「子どもの権利」の尊重についてお聞きします。

沖縄県知事が沖縄県議会に提出した「沖縄県子どもの権利を尊重し虐待から守る社会づくり条例」が、2020年3月27日、同議会本会議において原案通りで可決成立し、同年4月1日から施行されました。条例の施行に伴い、沖縄県では、今後どのように「子どもの権利」の尊重を具現化していくかが求められています。そこで、「子どもの権利」条例の制定を受けて、現状の課題や問題点、ご自身が議員になられた際、子どもの権利尊重に関して、この条例に基づきどのように取り組む予定か具体的施策があればご回答願います。

(回答4) 沖縄の「子どもの権利」の尊重の課題や問題点、具体的施策

幼児から高等教育の無償化。沖縄文化を重視し教育に連動させる。

質問5：沖縄の市民団体との「協働」についてお聞きします。

新型コロナの影響で、生きづらさや困難を抱えている方々や社会的な孤立が広がる懸念があります。こうした方々への支援については、公的制度だけではなく、NPO等民間の支援団体との協働なくしては成り立たず、そこでは、市民との対等なパートナーシップが重要となります。協働の現状についての課題や問題点、ご自身が議員になられた際に協働を推進するための具体的施策があればご回答願います。

(回答5) 沖縄の市民団体との「協働」の課題や問題点、具体的施策

過度な個人情報保護法の緩和。生涯教育の見直し。全世代の協働社会の促進。

ご回答ありがとうございます！これを機に、今後一緒に取り組むことのできる施策や課題があればともに地域課題の解決に向けて対話を続けていきたいです。ご多忙の折、ありがとうございました。

本質問状に関するお問い合わせは「沖縄セーフティネット協議会」まで hinkyo.okinawa@gmail.com

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム